

技術研究事業 技術委員会自主研究等 「LAS Specification 1.4-R15(ASPRS)の日本語版解説書」の公開

当協会が、協会Webページ等で発信している多数の情報の中から注目していただきたい公益目的事業活動に関する内容をピックアップ! 第5回は、技術研究事業 技術委員会自主研究等としてホームページに公開した、「LAS Specification 1.4-R15 (ASPRS) の日本語版解説書」について紹介します。

◆ 測技協が実施する7つの公益目的事業活動

当協会は、2012(平成24)年に公益財団法人として認可され、「測量調査技術の高度化とその普及」である7つの公益目的事業を設定し、法人活動を含めたこれらを一体的に推進して活動を行っています。

公益目的事業「測量調査技術の高度化とその普及」		
(区 分)	(事 業 内 容)	
1	技術研究	共同・受託研究 技術委員会部会WG活動における自主研究等 Pick up! 外部委員会等
2	技術普及	発表会・セミナー等開催 機関誌・技術図書発行 情報発信・共有、人材育成支援 測量継続教育(CPD)
3	地理情報の標準化	ISO/TC 211国内審議団体の活動 地理情報JIS原案作成 地理情報標準の普及
4	地理情報認定資格	地理情報標準認定資格(S-GI-Cert)の運営
5	品質検定	測量成果品質検定/「測量成果品質管理」優良表彰
6	災害時緊急撮影	協定に基づく対応/訓練
7	表彰	優秀技術論文/優秀発表

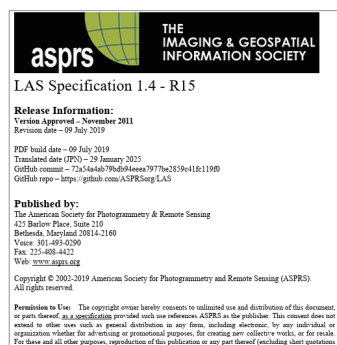
◆ LAS Specification 1.4-R15 (ASPRS) の日本語版解説書 について

測技協の公益目的事業である技術研究/自主研究活動の成果として、航空レーザワーキンググループはGISセンターと協力し、LAS形式の更なる普及と理解の促進のため、ASPRSの認証を得てLASデータ仕様(LAS Specification 1.4-R15)の日本語版解説書を作成しました。

LiDARによる3次元点群データは建設、インフラ管理、文化財調査などの広範な分野で活用されています。その3次元点群データの普及にはLAS形式が大きく貢献しています。LAS形式は、American Society for Photogrammetry and Remote Sensing (以下、ASPRS) によって指定されたLiDAR点群データの交換と保存用に設計されたファイル形式であり、オープンなバイナリ形式です。

注意：本文書の全ての著作権はASPRSに帰属します。また、当協会は正確な日本語訳を提供できるよう十分な注意を払い最善の努力を尽くしておりますが、日本語版によって生じたいかなる損害にも一切責任を負いかねますのでご了承ください。本文書を用いた取り組みを行う場合は、必ず原文(英文)もご確認ください。

・ASPRS公式ウェブサイト www.asprs.org



	目次:
1 導入	1
1.1 目的、適用範囲、および適用性	1
1.1.1 LAS 1.4の目的	1
1.1.2 LAS 1.4と以前のバージョンとの相違	1
1.2 適用	3
1.3 標準	3
1.3.1 ASPRS	3
1.3.2 ISO	3
2 LAS形式の要素	5
2.1 点群データ形式(LAS 1.1, LAS 1.3)	5
2.2 標準参照系(SRS)と座標	6
2.3 データ型	7
2.4 Public Header Block (公開ヘッダブロック)	8
2.5 VLR: Variable Length Records (可変長レコード)	13
2.6 Point Data Records (ポイントデータレコード)	15
2.6.1 Point Data Record Format 0 (ポイントデータレコード形式0)	15
2.6.2 Point Data Record Format 1 (ポイントデータレコード形式1)	21
2.6.3 Point Data Record Format 2 (ポイントデータレコード形式2)	22
2.6.4 Point Data Record Format 3 (ポイントデータレコード形式3)	23
2.6.5 Point Data Record Format 4 (ポイントデータレコード形式4)	24
2.6.6 Point Data Record Format 5 (ポイントデータレコード形式5)	26
2.6.7 Point Data Record Format 6 (ポイントデータレコード形式6)	27
2.6.8 Point Data Record Format 7 (ポイントデータレコード形式7)	31
2.6.9 Point Data Record Format 8 (ポイントデータレコード形式8)	32
2.6.10 Point Data Record Format 9 (ポイントデータレコード形式9)	33
2.6.11 Point Data Record Format 10 (ポイントデータレコード形式10)	34
2.7 Extended Variable Length Records (EVLRS) (拡張可変長レコード)	35
2.7.1 Legacy Compatibility for EVLRS (EVLRSとの互換性)	35
3 Coordinate Reference System VLRs (Required) (座標参照系VLR(必須))	36
3.1 Coordinate Reference System Information (座標参照系情報)	36
3.2 Georeferencing Information Using WKT (WKTを用いたジオ参照情報)	36
3.2.1 OGC Math Transformation WKT Record (OGC数学変換WKTレコード)	36

本解説書をご覧いただき、LAS形式を有効活用して頂ければ幸いです。

<https://sokugikyoku.or.jp/kentei/>

